

## イネカメムシの対策について

今年度も「イネカメムシ」の発生が予想されます。

### 1. イネカメムシ(体長12～13mm)の被害と発生生態

- 水稻の出穂前後に水田へ飛来し、産卵・増殖する。  
その後、遅れて出穂する水稻ほ場へ移動する。
- 籾の基部のみを加害する。他のカメムシより加害時期が早く、出穂期に加害されると不稔になる。また、穂揃い期以降に加害されると斑点米が生じる。
- 日中は水稻の株元に隠れており、夜間に穂にあがって加害するが、発生が多い場合は、日中でも穂にあがって加害する

イネカメムシ



幼虫

成虫

不稔の例



左の穂は不稔のため、  
穂が垂れていない

斑点米の例



籾の基部を加害

### 2. イネカメムシの防除対策

#### ① イネカメムシの発生状況に注意しましょう。

福岡県病害虫防除所が公表するイネカメムシの予察灯誘殺数の情報を参考に、ほ場での発生状況を確認してください。

#### ② 出穂期に1回目の防除

+

出穂期7日～10日後に2回目の防除(発生が多い場合)

※粒剤は、これよりも1週間程度早く散布しましょう。

#### ③ 本田で防除する際は、株元まで薬剤が届くようにしましょう。

※薬剤は株元にいるカメムシに届くように散布しましょう。

## ●カメムシに対する薬剤例

| 名称             | 希釈倍率<br>使用量 | 散布液量<br>(ℓ/10a) | 使用<br>回数 | 使用時期    |
|----------------|-------------|-----------------|----------|---------|
| アルバリン<br>顆粒水溶剤 | 2000倍       | 60～150          | 3回       | 収穫7日前まで |
| アルバリン<br>粉剤DL  | 3kg/10a     | －               |          | 収穫7日前まで |
| エクシード<br>フロアブル | 2000倍       | 60～150          | 3回       | 収穫7日前まで |
| エクシード<br>粉剤DL  | 3kg/10a     | －               |          | 収穫7日前まで |
| スタークル<br>豆つぶ   | 250g/10a    | －               | 3回       | 収穫7日前まで |

※【注意】アルバリン（顆粒水溶剤・粉剤DL）とスタークル（顆粒水溶剤・粉剤DL）は同じ成分です。  
※「スタークル豆つぶ」は液剤や粉剤より早めに散布してください。

## 農作業中の熱中症対策（農林水産省HPより引用）

### \* 農作業中の熱中症 \*

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



### \* 予防のポイント \*

#### 暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



#### こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



#### 熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

